



JA東京あおば 青壮年部



“新しい仲間” 大募集!!



● Let's join us! ●

JA東京あおば 青壮年部では新しい部員を募集しています

現在、JA東京あおば青壮年組織協議会は、板橋地区、練馬地区、石神井地区、大泉地区それぞれの青壮年部員256人で活動し、農政活動、勉強会、地域貢献活動などを行っています。各地区での活動も盛んで、農業体験イベントの実施、支店でのマルシェ開催や、地元イベントへの参加、他JAとの交流や視察活動など、幅広い活動があります。各活動は部員同士での情報交換や仲間づくりに役立っています。

これから就農される方や就農を迷っている方など「先輩農家に話を聞きたい・相談したい」「活動に参加してみたい」という方は、お気軽にお近くの青壮年部員またはJA職員までご相談ください。



主な活動内容

- アグリスクール（興味のあることを学びます）
- 暑気払い（交流を深めます）
- ソフトボール大会（都内の他JAと試合で対決!）
- JA東京あおば農業祭（焼きそばやポップコーンを販売）
- 地元議員との意見交換（農政活動）
- 看板コンクールに出展（年に1度の創作活動）
- 他JAとの交流会（視察に行ったり、受け入れたり）



スペシャル対談

「青壮年部の話をしよう」



今回は、代々続く農家の後継者として、社会人経験を経てほぼ同じ時期に就農し、農業と子育てに奮闘する青壮年組織協議会の高橋範行会長と大泉地区の白石秀徳さんに「青壮年部の話をしよう」と題し、対談をしていただきました。

高 自分も就農後、横のつながりや地元をつなぐのは大切だなと感じ、誰が入っているのかもわからず、若干抵抗はあったもの(笑)、入部しました。結果、農業に前向きで優しい人が多く入って良かったと思っています。

高 飲み会でも、みんな(農業のことしか話すことないからか)ざっくばらんに情報交換ができて助かりますよね。イベントの集客のコツについてとか、SNSの相互フォローなど！

高 一日のなかで、圧倒的に畑にいる時間が長いから、自然と互いの畑の話になりますよね。

高 父親世代と話すのはまた違う、同年代と話す気軽さもありますね。

高 それはそうですね！表面上ではなく、割と深い話もできますよね。作物の売れ行きとか、育てるうえで作業の苦労とか経営面の話も。

高 仕事の話もそうですが、子育ての話も同じ職種の人に相談できてほっとするときもあります。繁忙期に家族との時間が取れず、

歯がゆい思いをすることがあっても、共感してくれる人もいて、ちよつとほつとして。(苦笑)

高 農家ならではの多忙さがありますからね。自分だけが担当している作業もあったり。時間の作り方とか、色々部員と話せるのも助かります！

ーとこの後も、尊敬する両親のこと、幼少期の思い出や子育てのこと、サツマイモの作付け、収穫方法など、話は尽きませんでした。

青壮年部への加入を迷っている方！

我々も、まだまだ多くの人の体験談や経験談などの話を聞いて世界を広げていきたいので、JA 東京あおば青壮年部で、一緒に都市農業の未来を耕やしましょう！



白石 秀徳さん

高橋 範行会長



青壮年部のここがGood!生Voice



就農4年目
露地栽培で木根、キャベツ、ブロッコリー、ジャガイモ、カブなど

大泉地区

高橋 洋平さん

私は、就農したタイミングがコロナ禍だったので農家同士の交流が全くありませんでした。コロナが落ち着いて青壮年部活動が復活すると、同じ地区だけでなく他の地区との交流も増え情報交換の量も増えました。
同年代の人の頑張りをみると自分も頑張ろうと良い刺激になっています。



就農13年目
長イモ、ニンニクを中心に年間約30品目栽培！

石神井地区

石塚 光さん

私は、就農してから10年以上経って、青壮年部に加入しました。部員の皆さんは、とても人柄もよく、農業に対する取り組みも熱心で、すぐに馴染むことができました。よい仲間の輪に入ることができたと感じています。
今後、仕事やプライベートなどを含めて楽しく関わっていきたいです。



就農5年目
トマト、長ネギ、落花生など

練馬地区

相原 謙介さん

先輩方との交流の中で、農業の知識を深めたり、農業に取り組む姿勢を学ぶことができました。また、視察で各地の農業に触れることで、練馬の枠を越えた考え方や作物に出会うことができました。
これからも練馬の農業を盛り上げるためにも、積極的に青壮年部活動に参加していきたいです。



就農4年目
野菜・果樹(カンキツ類)

板橋地区

久保 正敏さん

青壮年部に入部する前は、一人で農作業に取り組んでいたのが、一人で頑張るしかありませんでした。入部してからは、農業に関する色々な話ができて、共感もでき、相談できる仲間ができました。
私が青壮年部に入ってきたこと、それは、「仲間ができたこと」です。